

# 斐川宍道水道企業団経営戦略について

## I. 水道事業

### 1. 計画期間

令和8年度～令和17年度（10年間）

### 2. 将来の事業環境の見通し

#### ①給水人口

過去10年間の住民基本台帳の人口の推移から推計した。

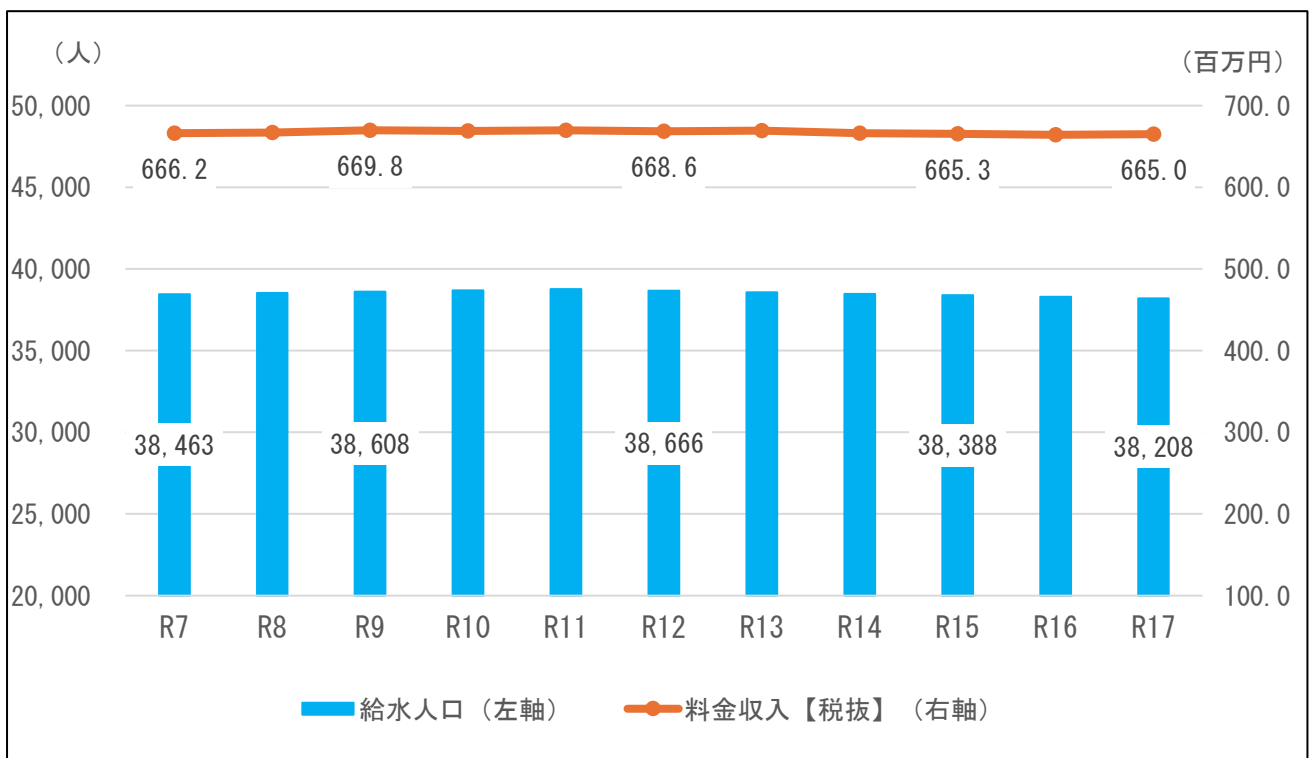
- 斐川町 …直近10年間で微増の傾向があるため、令和11年度までは増、令和12年度以降は横ばいとした。
- 宍道町・島村町 …直近10年間で減少傾向にあるため、将来に渡り減少と見込んだ。

#### ②水需要の予測

- 生活用水量 …給水人口の見込み×令和6年度実績の生活用原単位（※）  
（※）1人が1日に使用する水量
- 生活用以外の水量 …令和6年度実績の水量を横ばいとした。

#### ③料金収入の見通し

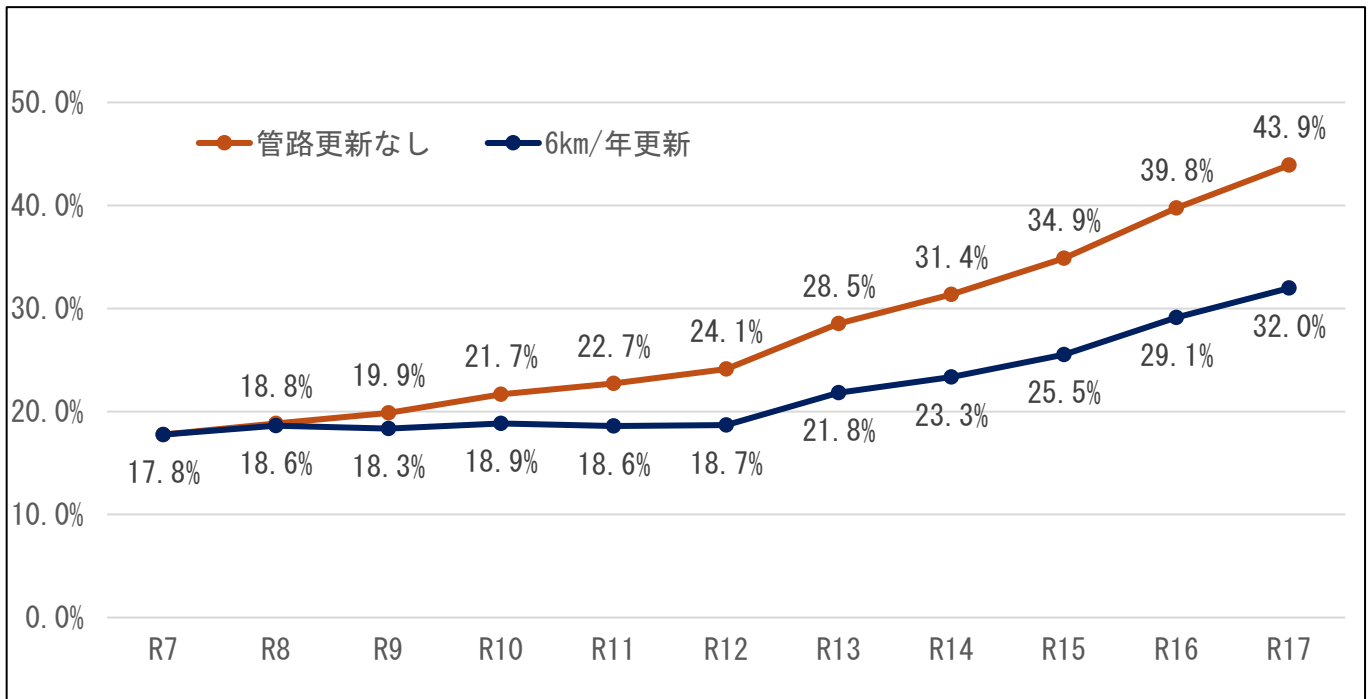
「水需要によって算出した年間総有収水量」×「令和6年度の1㎡あたりの供給単価（水道料金収入÷有収水量）」により、各年度の料金収入を見込んだ。



### 3. 老朽管更新と管路耐震化の見通し

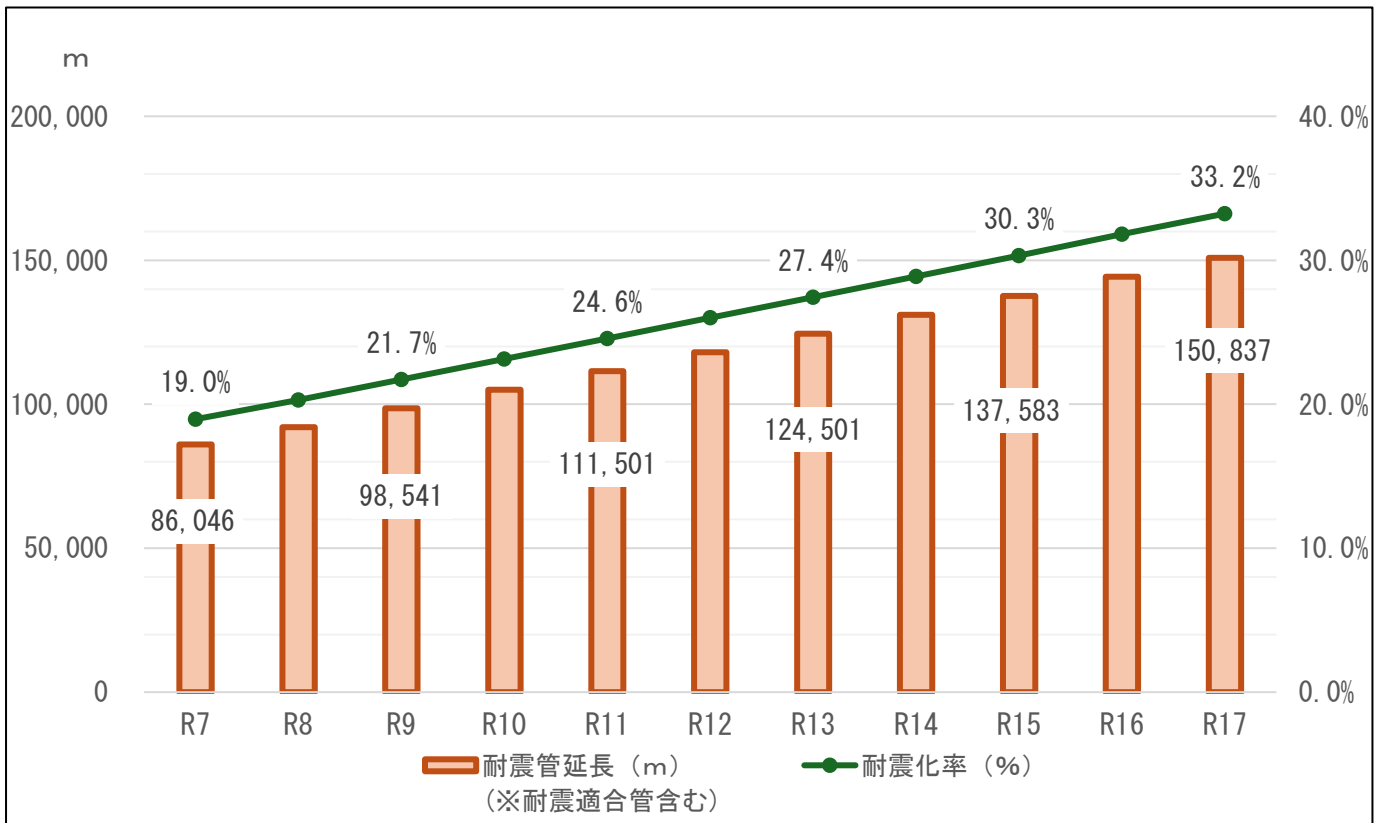
#### ①老朽管更新

老朽管を更新しない場合、令和 17 年度には法定耐用年数を経過する管路は 40%を超える見込みだが、更新を継続して行うことにより経年化を抑制する。



#### ②管路耐震化

老朽管更新に伴う耐震化にくわえ、令和 9 年度から重要給水拠点施設の管路耐震化工事を実施することで、災害に強い管路の整備を進めていく。



#### 4. 投資財政計画（収支計画）

##### ①収益的収入・支出【図 1-1 上段】

- ・ 物価高騰による維持管理費や人件費の増加、近年の利率の著しい上昇による企業債支払利息の増加、恒常的な投資による減価償却費の増加などにより支出は増加。
- ・ 現状のまま推移すると、令和 12 年度に収支は赤字となる見込み。

##### ②資本的収入・支出【図 1-2 上段】

- ・ 支出面では毎年度約 3.8 億円の老朽管更新にくわえ、管路耐震化工事を令和 9 年度から実施。その他ポンプ等の水道施設の更新、水道料金システムなどの更新費用を見込む
- ・ 収入面では管路耐震化事業に国庫補助金（事業費の 1/3）を充てる。

##### ③企業債残高【図 1-3 上段】

- ・ 企業債残高は類似団体と比べて高い水準にあり、将来世代への過度な負担が懸念されることから、各年度の企業債新規発行額を元金償還額より低く設定し、残高の減少を図る。

##### ④内部留保資金残高【図 1-4 上段】

- ・ 物価高騰や人件費増による支出の増、企業債発行の抑制、継続的な建設改良費の支出により内部留保資金は減少していく。
- ・ 料金改定をしなかった場合は令和 13 年度に内部留保資金は枯渇する見込み。

##### ⑤水道料金改定の設定【図 1-1、1-2、1-3、1-4 各下段】

- ・ 収益的支出の増加により令和 12 年度以降は継続的に赤字決算が見込まれるほか、内部留保資金も令和 13 年度に枯渇することが想定されることから、令和 12 年度から 20% の水道料金改定を見込むことで解消を図る。

#### 5. 事後検証及び改定

- ・ 毎年度の決算公表後、経営戦略の収支計画との乖離や他計画との内容の整合性を検証し、3~5 年ごとに経営戦略の改定を行う。
- ・ 経営戦略の改定を行った場合は議会へ報告するとともに、ホームページ上に公表することで住民への周知を図る。

図 1 - 1 収益の収入・支出

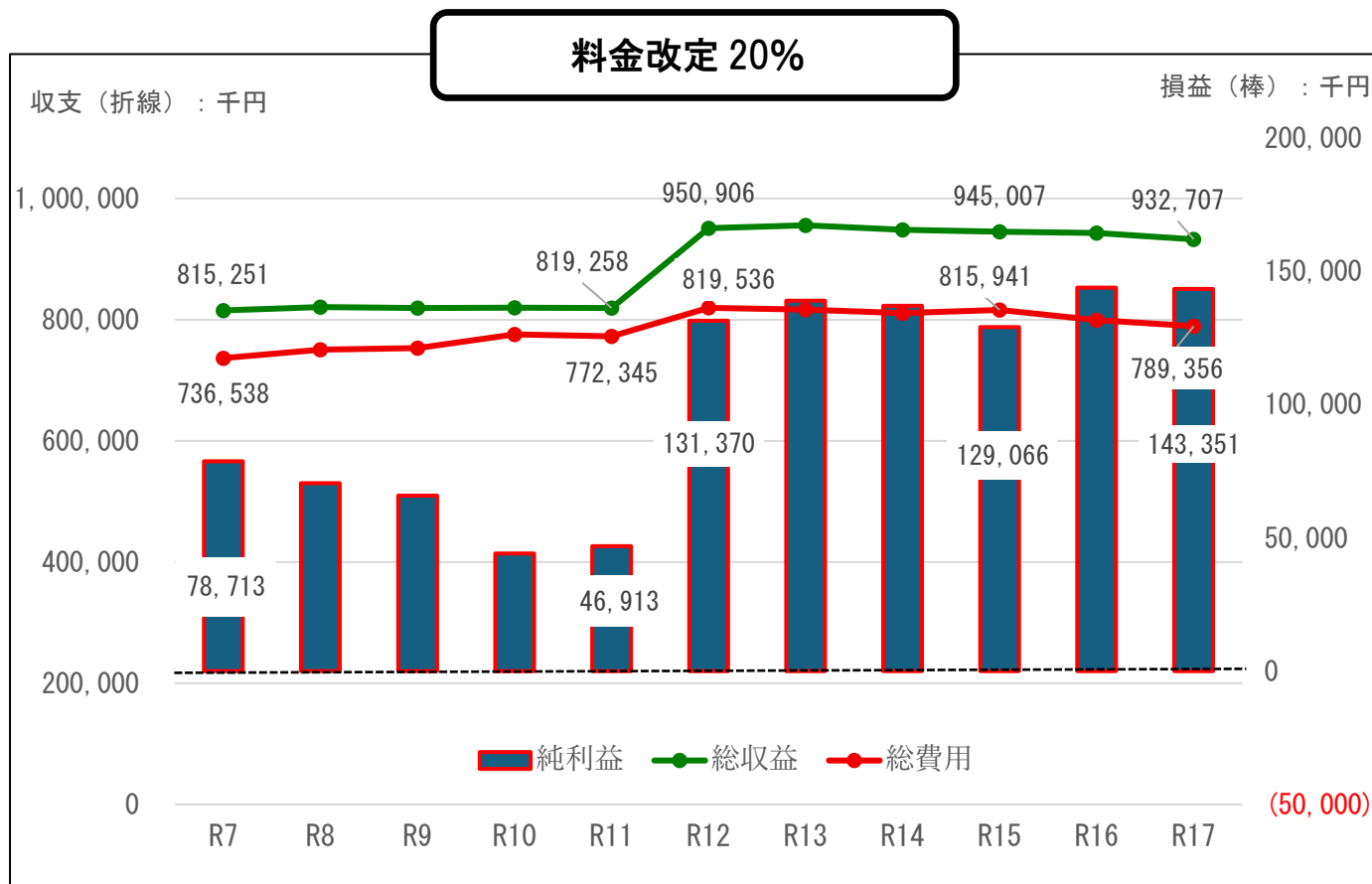
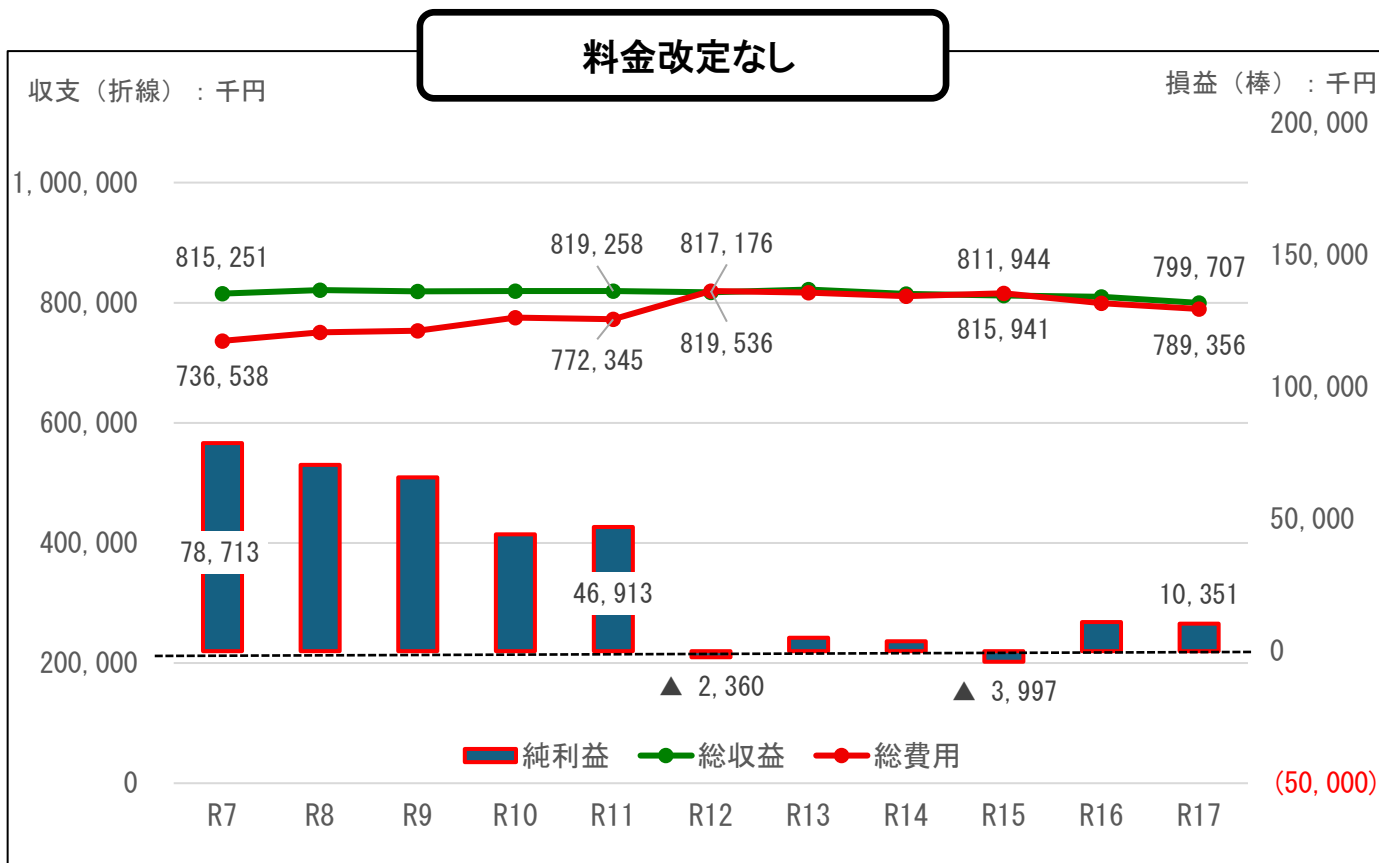
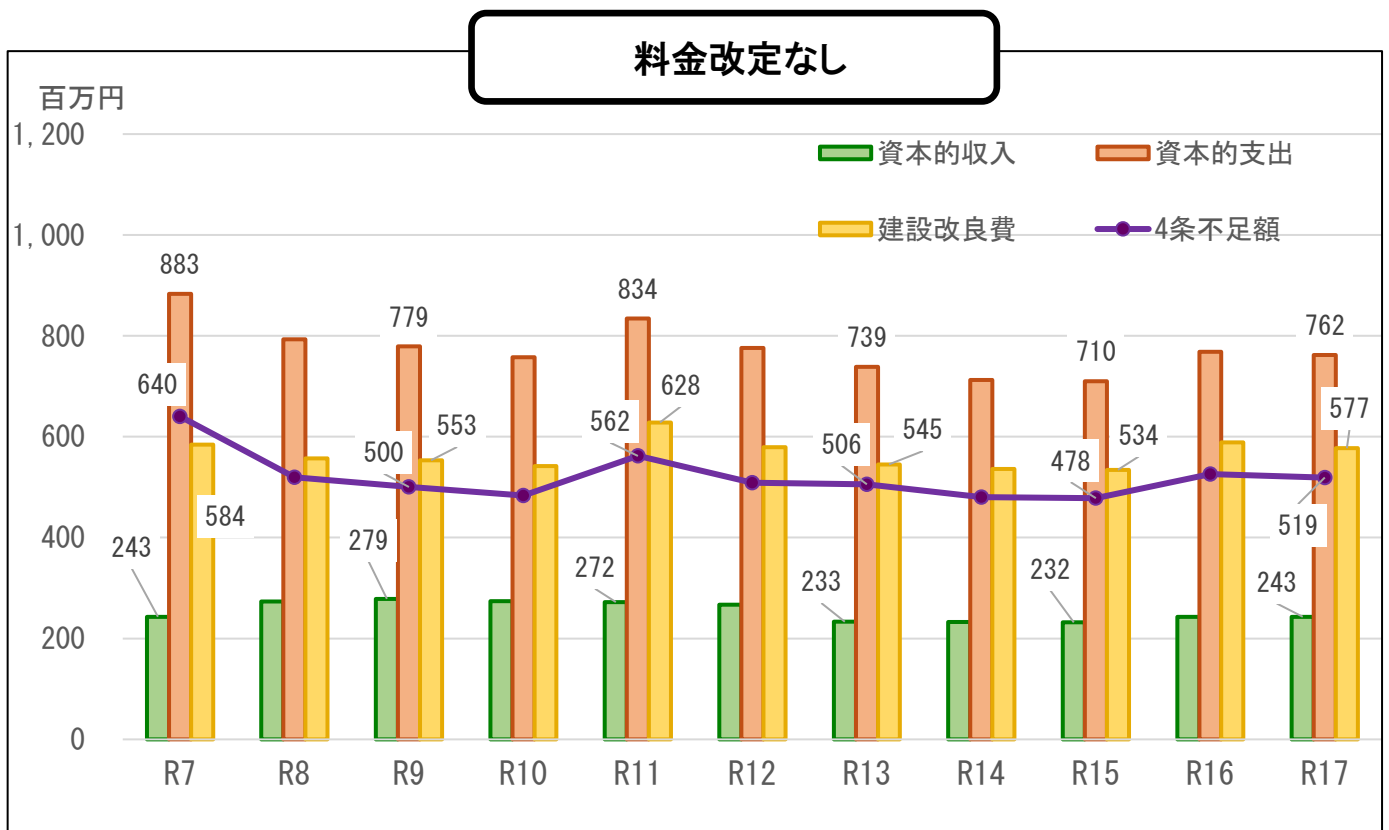


図 1 - 2 資本的收入・支出



**料金改定 20%**

料金改定後も資本的收入・支出は変更なし

図 1 - 3 企業債残高

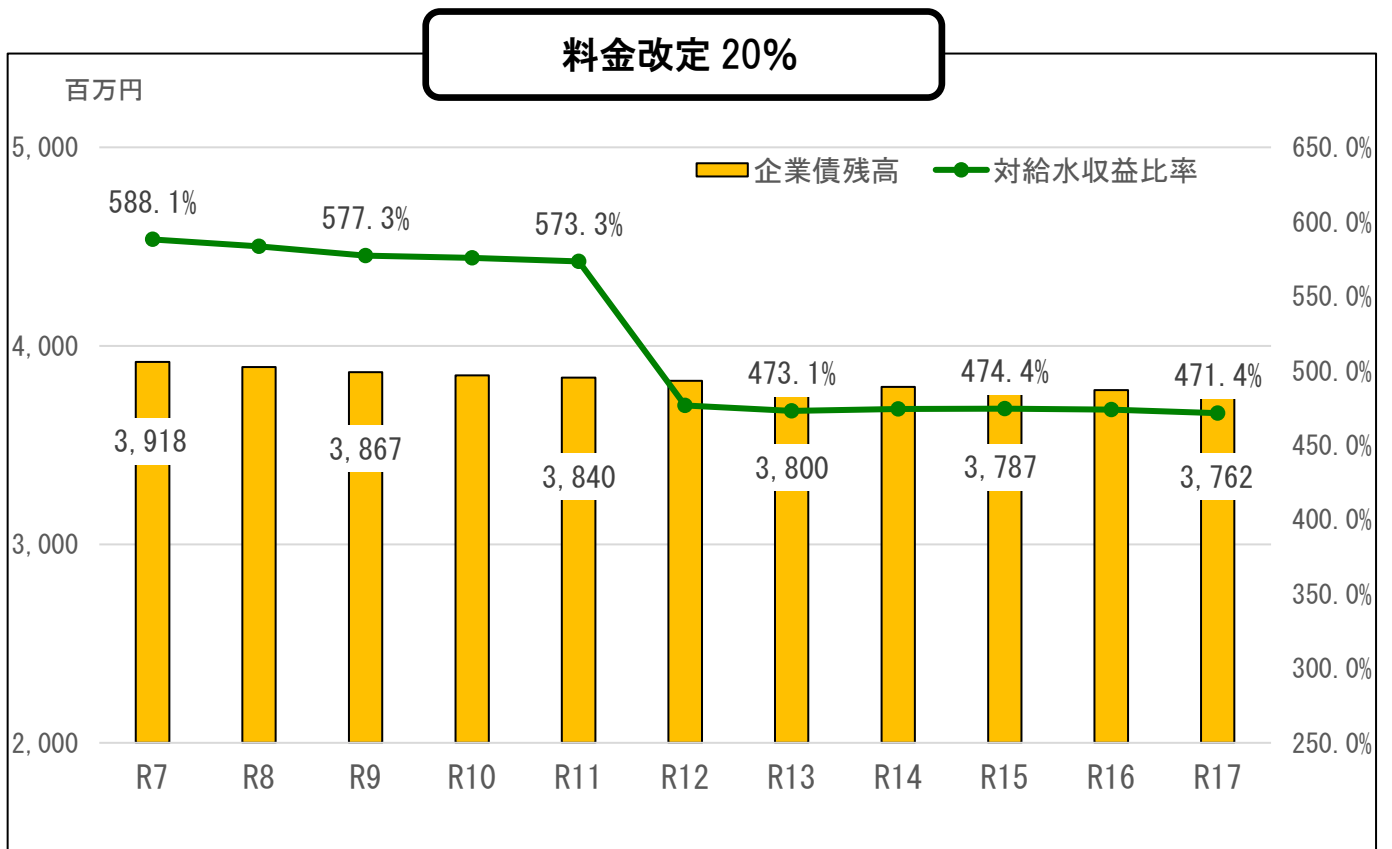
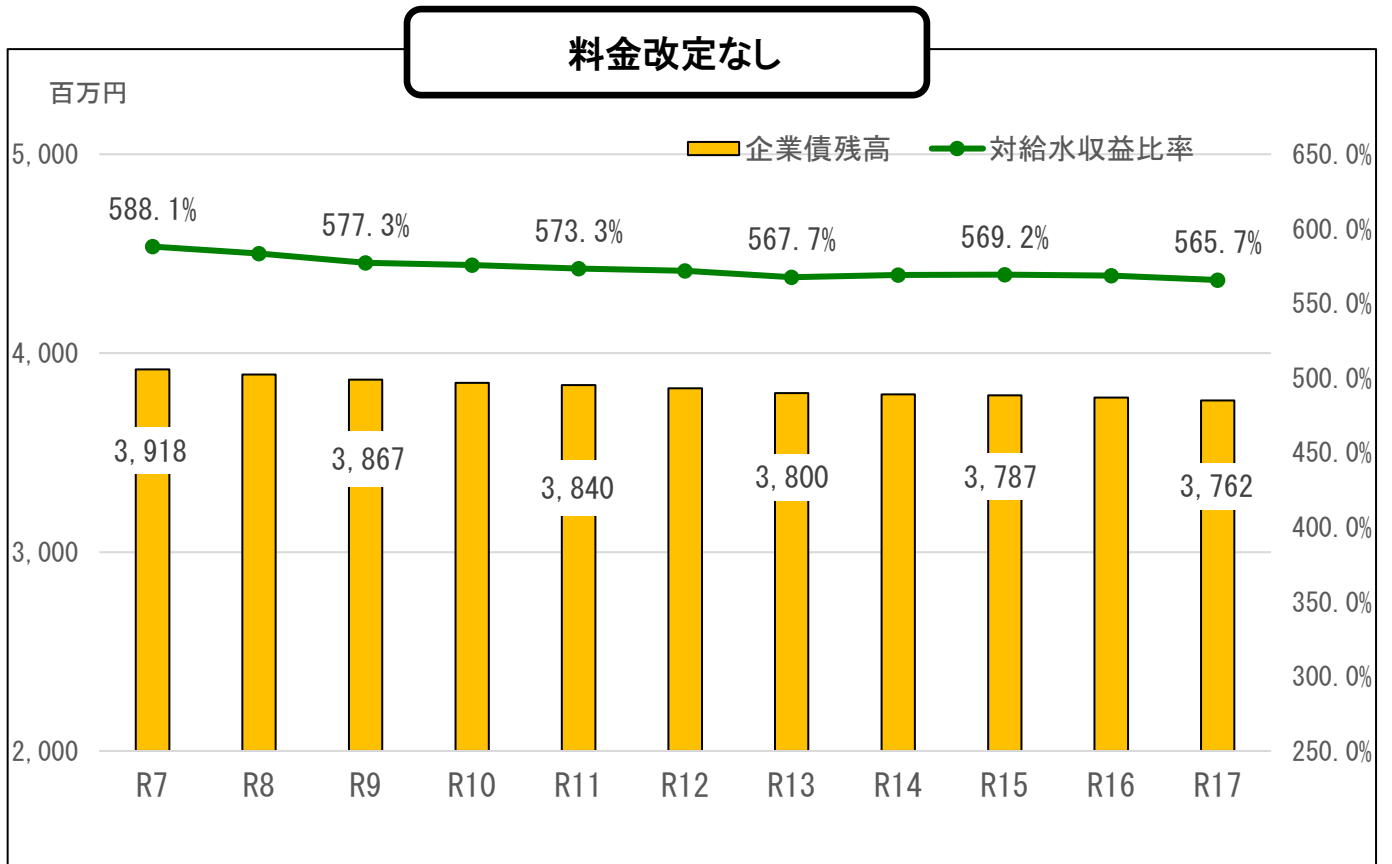
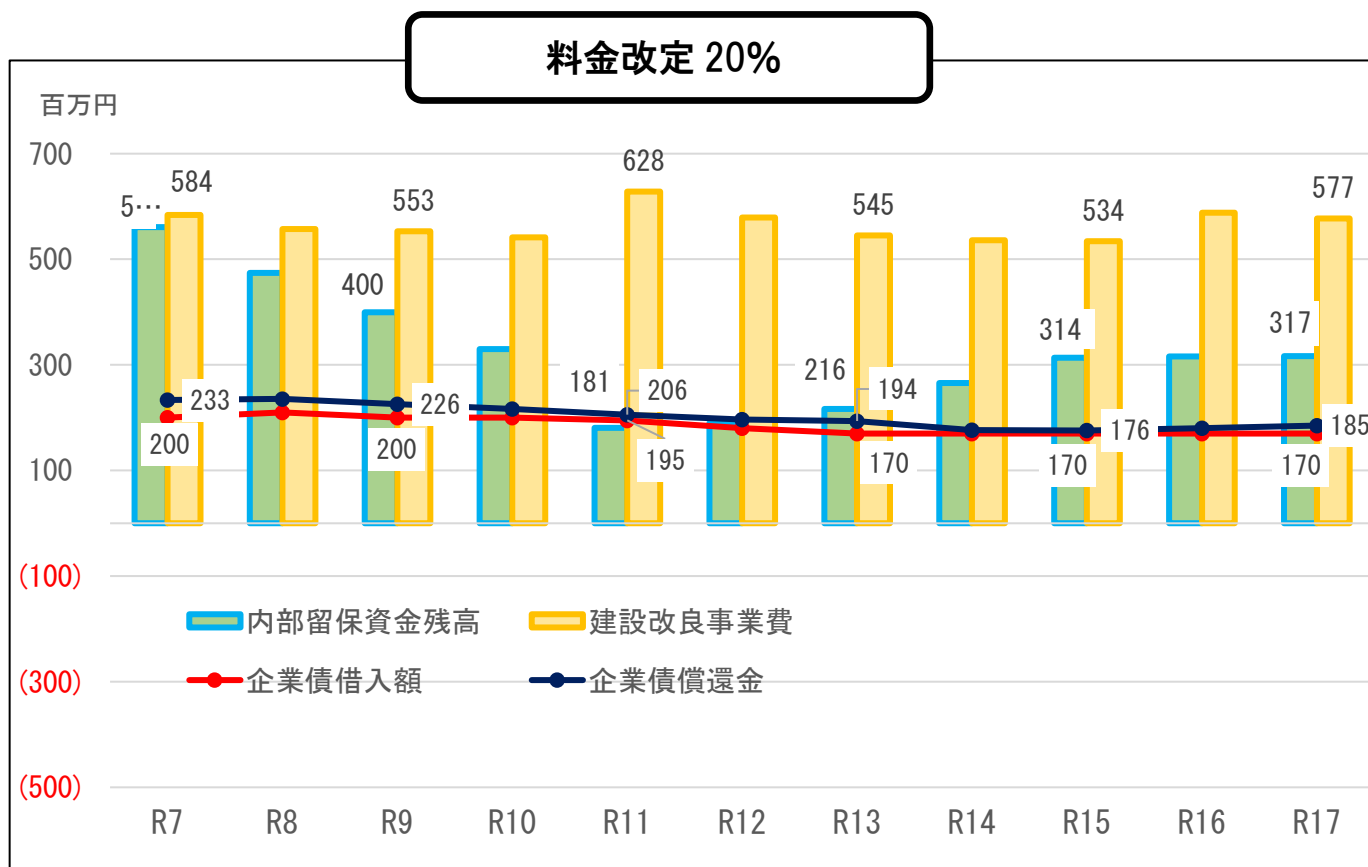
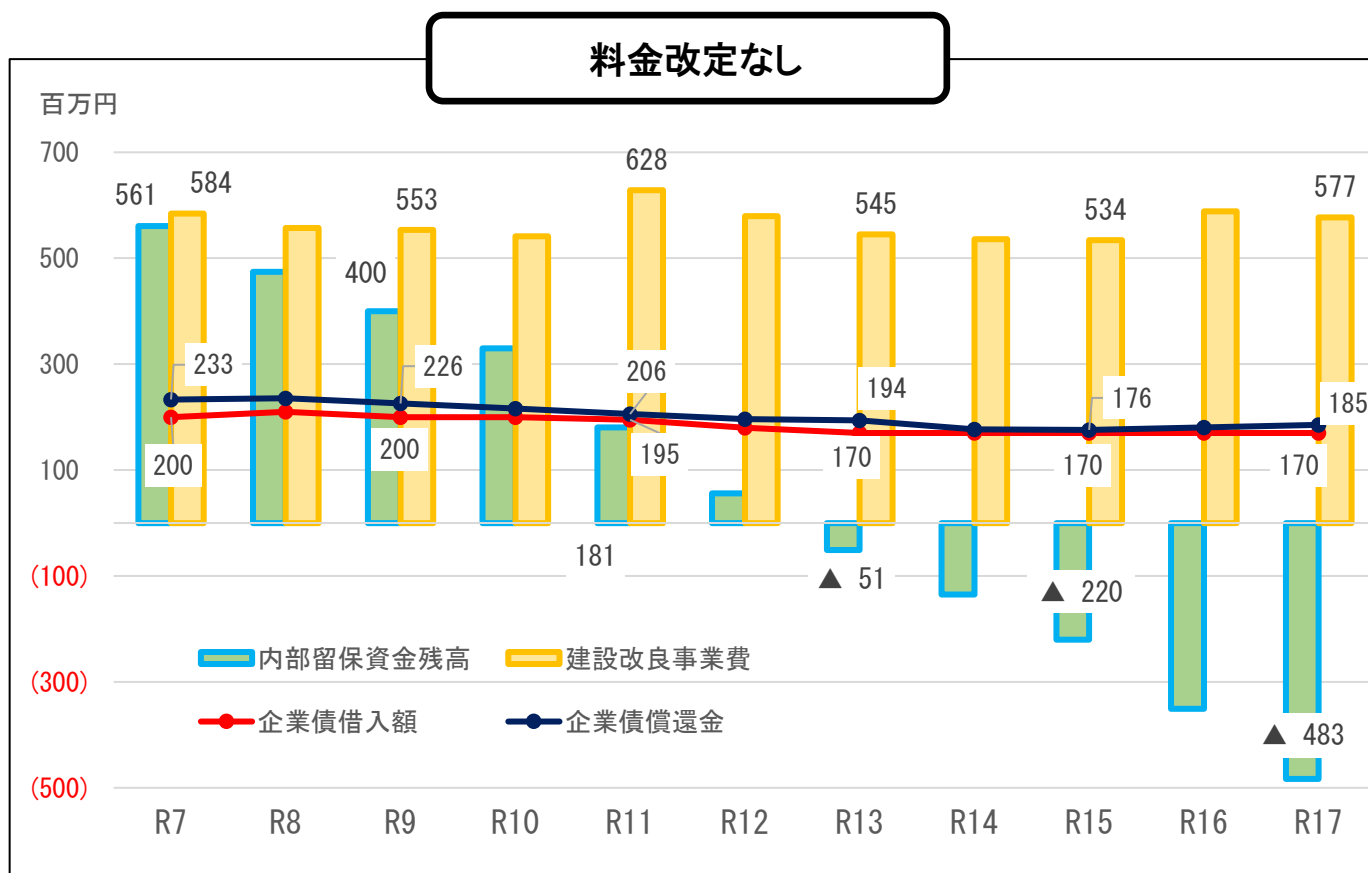


図 1 - 4 内部留保資金残高



## Ⅱ. 工業用水道事業

### 1. 計画期間

令和 8 年度～令和 17 年度（10 年間）

### 2. 将来の事業環境

#### ①水需要の予測

令和 7 年度に整備した新規取水井の本稼働により、令和 8 年度以降は有収水量が増加。

#### ②料金収入の見通し

有収水量の増加により、令和 8 年度以降の料金収入も増加。基本使用水量制により使用水量に左右されない安定した収入が得られる。

### 3. 投資財政計画（収支計画）

#### ①収益的収入・支出【図 2-1】

- ・ 物価高騰による維持管理費や人件費の増加により支出は増加していくが、令和 8 年度から安定した料金収入の増が見込まれることから、安定した純利益を確保できる見込み。

#### ②資本的収入・支出【図 2-2】

- ・ 令和 7 年度の新規水源開発の後は、大規模な投資事業は予定されていない。令和 11 年度から経年化した管路の更新を見込む。

#### ③企業債残高【図 2-3】

- ・ 令和 10 年度までは大規模な建設改良事業がないことにより借入を行わないため、企業債残高は減少していく。
- ・ 令和 12 年度からは企業債の借入を見込んでいるが、償還額より借入額を低く設定することで、残高を抑制する。

#### ④内部留保資金残高【図 2-4】

- ・ 令和 8 年度から令和 11 年度までは大規模な建設改良事業は予定していないが、令和 12 年度から管路更新を予定しており、それに充当する企業債の新規借入による収入を見込む。
- ・ 安定した水道料金収入と、計画的な建設改良事業により、おおむね 1.5 億円の内部留保資金の確保が見込まれる。

### 4. 事後検証及び改定

毎年度の決算公表後、経営戦略の収支計画との乖離や他計画との内容の整合性を検証し、3～5 年ごとに経営戦略の改定を行う。

なお、改定を行った場合は議会へ報告するとともに、ホームページ上に公表することで住民への周知を図る。

图 2-1 收益的收入・支出

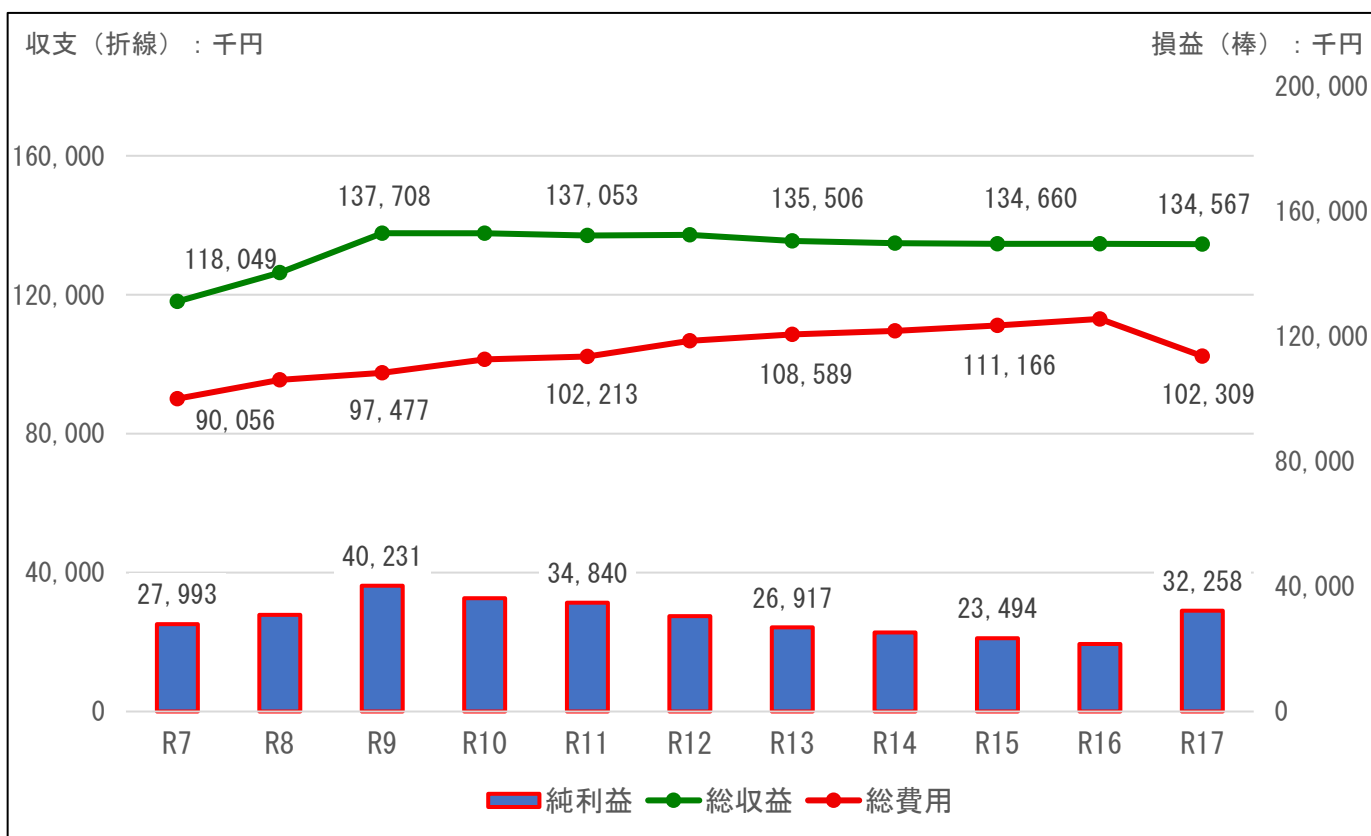


图 2-2 資本的收入・支出

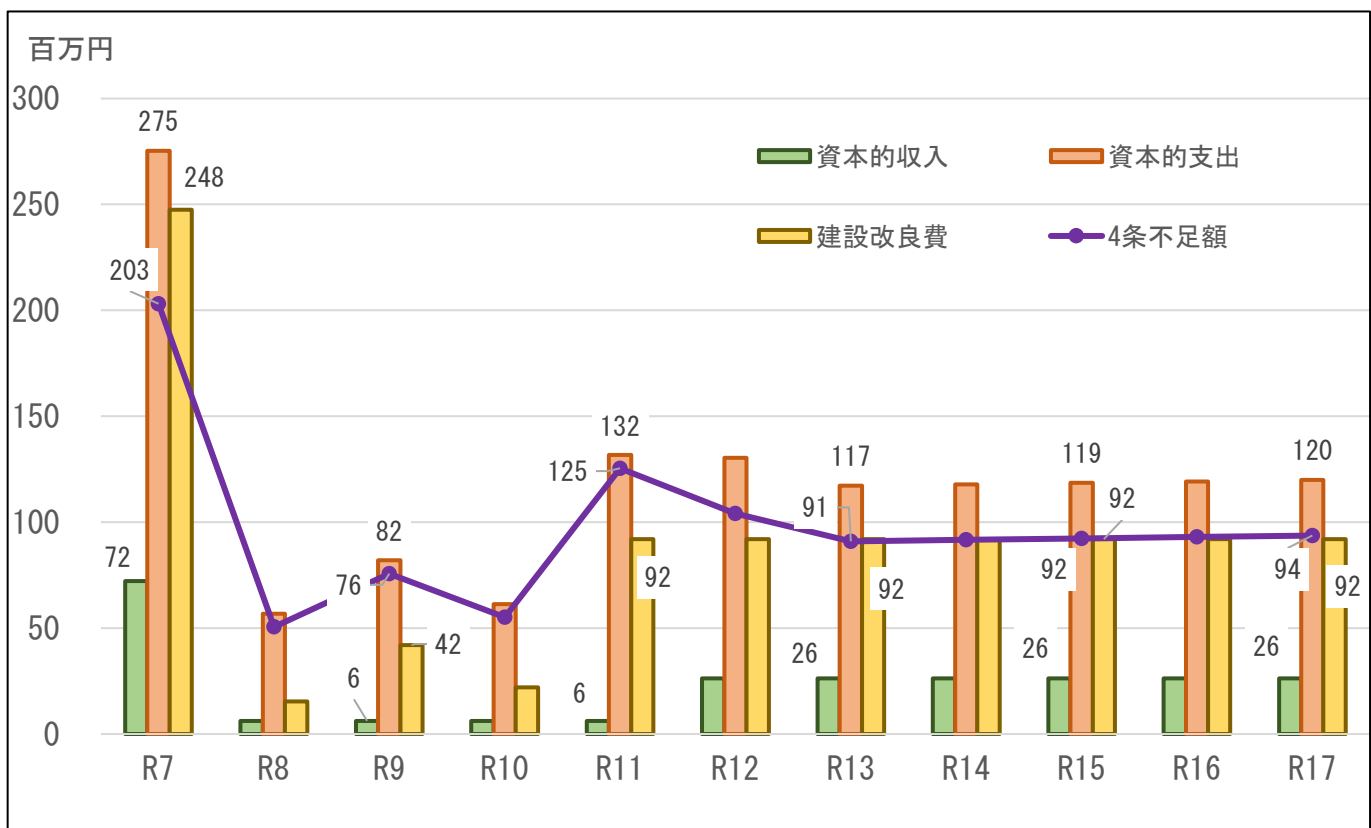


图 2-3 企业债残高

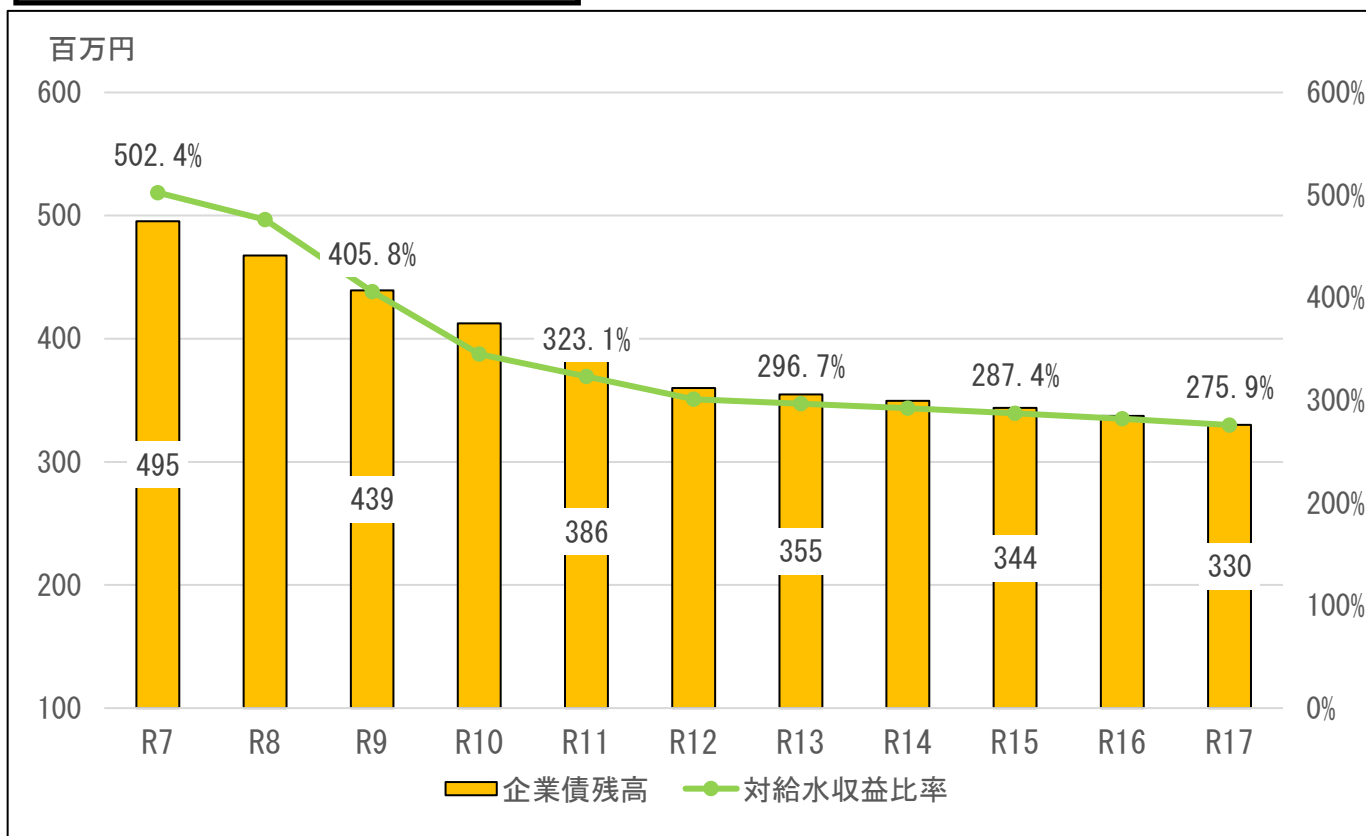


图 2-4 内部留保资金残高

